



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-915-3210

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,011	5.4	184	17.0	195	11.6	129	10.6
29年3月期第2四半期	3,804	3.2	157	19.7	175	16.5	116	15.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 126百万円 (5.5%) 29年3月期第2四半期 119百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.85	
29年3月期第2四半期	28.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,712	3,015	64.0
29年3月期	4,596	2,945	64.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,015百万円 29年3月期 2,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	7.4	400	10.8	418	8.1	290	7.8	71.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,060,360 株	29年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	7,257 株	29年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	4,053,103 株	29年3月期2Q	4,054,637 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善、株式市場の株高での推移が続き、緩やかな回復傾向が継続いたしました。しかしながら、海外では、米国や欧州では緩やかに景気は回復しているものの、アジア新興国などの景気下振れリスクや欧州主要国での地政学的リスクがあり、今後のわが国への影響が懸念されております。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、住宅取得に対する諸施策が継続、マイナス金利政策による住宅ローンの低金利での推移などがありましたが、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業において、個人消費者からの中規模リフォーム件数が増加いたしました。また、集合住宅などの中規模建設物に対する補修・修繕工事の件数、注文戸建住宅の販売、中古マンションのリノベーション物件の販売も堅調に推移したことから、業績は伸長いたしました。

住宅等サービス事業では、シロアリ対策の各種工事はわずかに増加いたしました。しかし、床下環境改善の防湿商品の販売は減少しており、業績は確保したものの、利益面では厳しい状況となりました。

ビルメンテナンス事業では、窓、外壁清掃に加えて、床清掃を強化したことで、首都圏での受注が増加したことにより、業績は伸長いたしました。しかし、人手不足が顕著であり、清掃スタッフを確保するためのコスト増加や賃金相場の上昇により、原価の上昇が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,011百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益は184百万円(前年同四半期比17.0%増)、経常利益は195百万円(前年同四半期比11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129百万円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて116百万円増加し、4,712百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加123百万円、事業所建設による固定資産その他の増加46百万円及び売掛債権の増加32百万円があったものの、現金及び預金の減少96百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、1,697百万円となりました。主な増減は、未払法人税等の増加31百万円、退職給付に係る負債の増加17百万円及びその他の流動負債の増加34百万円があったものの、買掛債務の減少36百万円及び短期借入金の減少10百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて69百万円増加し、3,015百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加72百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の減少1百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、96百万円減少(前年同四半期は174百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には1,044百万円(前年同四半期は939百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、35百万円(前年同四半期は79百万円の減少)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益195百万円に加えて、たな卸資産の増加による資金の減少123百万円、法人税等の支払額39百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、65百万円(前年同四半期は6百万円の減少)となりました。これは、主に貸付金の回収による収入3百万円があったものの、事業所建設などの有形固定資産の取得による支出52百万円及び貸付けによる支出12百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、66百万円(前年同四半期は87百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額56百万円、短期借入金の減少10百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、平成29年5月9日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,356	1,078,166
受取手形及び売掛金	1,001,020	1,033,587
たな卸資産	412,247	535,804
その他	135,179	145,542
貸倒引当金	△3,280	△6,113
流動資産合計	2,719,523	2,786,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,098	428,940
土地	1,076,175	1,076,175
その他(純額)	58,023	104,787
有形固定資産合計	1,569,297	1,609,903
無形固定資産		
その他	6,625	9,372
無形固定資産合計	6,625	9,372
投資その他の資産		
その他	301,203	306,388
貸倒引当金	△470	△370
投資その他の資産合計	300,733	306,018
固定資産合計	1,876,656	1,925,295
資産合計	4,596,179	4,712,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	686,961	650,139
短期借入金	50,000	40,000
未払法人税等	39,652	71,436
賞与引当金	93,195	96,738
完成工事補償引当金	31,400	34,900
その他	237,956	272,380
流動負債合計	1,139,164	1,165,595
固定負債		
退職給付に係る負債	315,829	333,032
長期未払金	21,660	21,660
その他	174,121	176,846
固定負債合計	511,610	531,539
負債合計	1,650,775	1,697,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	2,583,589	2,655,952
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	2,913,591	2,985,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,419	29,689
その他の包括利益累計額合計	31,419	29,689
非支配株主持分	393	△496
純資産合計	2,945,404	3,015,147
負債純資産合計	4,596,179	4,712,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,804,606	4,011,038
売上原価	2,781,876	2,939,035
売上総利益	1,022,730	1,072,002
販売費及び一般管理費	865,100	887,536
営業利益	157,629	184,466
営業外収益		
受取利息	18	29
受取配当金	742	758
受取手数料	1,386	1,786
受取保険金	7,994	1,290
受取賃貸料	5,089	5,873
その他	5,069	4,005
営業外収益合計	20,301	13,743
営業外費用		
支払利息	182	136
賃貸費用	2,543	2,492
その他	161	208
営業外費用合計	2,887	2,836
経常利益	175,043	195,372
税金等調整前四半期純利益	175,043	195,372
法人税、住民税及び事業税	53,528	75,480
法人税等調整額	5,590	△8,324
法人税等合計	59,118	67,156
四半期純利益	115,925	128,216
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△794	△890
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,719	129,106

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	115,925	128,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,953	△1,729
その他の包括利益合計	3,953	△1,729
四半期包括利益	119,879	126,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,673	127,376
非支配株主に係る四半期包括利益	△794	△890

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,043	195,372
減価償却費	12,715	12,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,072	3,543
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,000	3,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,000	17,203
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,433	2,733
受取利息及び受取配当金	△761	△788
支払利息	182	136
売上債権の増減額(△は増加)	△3,078	△32,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,651	△123,556
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,327	△36,821
その他	△16,549	32,976
小計	61,068	74,253
利息及び配当金の受取額	761	788
利息の支払額	△138	△101
法人税等の支払額	△141,452	△39,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△79,760	35,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,857	△27,858
定期預金の払戻による収入	27,857	27,858
有形固定資産の取得による支出	△2,174	△52,729
無形固定資産の取得による支出	—	△3,144
貸付けによる支出	△4,350	△12,690
貸付金の回収による収入	75	3,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,449	△65,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	△10,000
長期借入金の返済による支出	△25,200	—
配当金の支払額	△52,710	△56,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,910	△66,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,120	△96,189
現金及び現金同等物の期首残高	1,113,889	1,140,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	939,769	1,044,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,371,189	633,596	799,821	3,804,606	—	3,804,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	704	2,118	6,509	9,331	△9,331	—
計	2,371,894	635,714	806,330	3,813,938	△9,331	3,804,606
セグメント利益	75,698	114,402	66,008	256,109	△98,479	157,629

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,479千円には、セグメント間取引消去14,483千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,962千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,514,304	641,430	855,303	4,011,038	—	4,011,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	267	1,011	612	1,891	△1,891	—
計	2,514,571	642,442	855,916	4,012,929	△1,891	4,011,038
セグメント利益	121,563	107,459	62,136	291,158	△106,692	184,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,692千円には、セグメント間取引消去14,404千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,096千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。